

環境社会報告書 2021



Kawai Musical Instruments Manufacturing Co., Ltd.
Environmental and Social Report 2021

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

経営の理念

創造性豊かな好感度企業をめざして…

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて…

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

創業以来私たちはより良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきました。

社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、

より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、

カワイは上記の経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

編集方針

内 容

カワイグループにおける環境活動側面に加え、企業における社会的責任の視点、コーポレート・ガバナンスの取り組みを掲載した「環境社会報告書」となっています。

企業概要は5ページに記載しました。

カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

対 象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2021年版について

各項目に方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

報告対象期間

2020年度（2020年4月～2021年3月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては2021年4月以降の最新情報を含んでいます。

集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ・(株)河合楽器製作所 本社 / 竜洋工場
- ・カワイ精密金属(株)
- ・(株)カワイキャスティング
- ・(株)カワイハイパーウッド
- ・(株)カワイ音響システム

目 次

トップメッセージ	3
----------	---

カワイグループの企業概要

カワイグループの会社の概要と主な事業	5
--------------------	---

カワイグループのあゆみ	6
-------------	---

第6次中期経営計画「Resonate 2021」の概要と進捗	7
--------------------------------	---

環境に対する取り組み (Environment)

地球環境憲章 / 環境方針	9
---------------	---

グリーン調達ガイドライン / 木材調達ガイドライン	10
---------------------------	----

環境負荷低減の目標と実績	11
--------------	----

廃棄物削減の取り組み	12
------------	----

環境マネジメントシステム / 「カワイの森」植林活動	13
----------------------------	----

マテリアルバランス	14
-----------	----

社会に対する取り組み (Social)

音楽文化貢献活動 / 各種音楽団体への支援	15
-----------------------	----

中国での音楽文化の普及 / 新興国での音楽文化の普及	16
----------------------------	----

教育事業	17
------	----

スポーツコミュニティ	19
------------	----

女性活躍推進活動	20
----------	----

障がい者雇用 / 人材育成	21
---------------	----

コーポレート・ガバナンスに対する取り組み (Governance)

コーポレート・ガバナンス基本方針	22
------------------	----

コーポレート・ガバナンス体制 / 内部統制システム	23
---------------------------	----

リスク管理体制	24
---------	----

資料編

環境負荷サイト別一覧	25
------------	----

第三者意見	26
-------	----

SDGs に対する取り組み

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダに記載された持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は17の目標と169のターゲットで構成され、2030年までに達成すべき目標として掲げられています。

本誌では関連する取り組みを記載したページに該当するSDGsアイコンを付与しています。

カワイでは事業活動を通じてこれらの目標達成に向けて貢献してまいります。



長期ビジョン「100 年ブランドの確立」のもと
100 年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、
企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に
取り組めます。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆



2020 年に入って間もなく新型コロナウイルスが猛威を振るい、1 年以上経った今でも依然として国内のみならず海外においても大きな勢力を保ち、世界の隅々にまで広がっています。亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様ならびにそのご家族に対し心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止や治療などに昼夜問わずご尽力されている医療関係者の皆様に深く敬意を表し感謝申し上げます。

中期経営計画『Resonate 2021』への取り組み

当社グループは、長期ビジョン「100 年ブランドの確立」を策定し、祖業であり経営の原点であるピアノづくりを軸とした持続的な成長を図ってまいりました。

2019 年にスタートした第 6 次中期経営計画『Resonate 2021』（2019 年度～2021 年度）は、今年で 3 年目の最終年度となりました。『Resonate 2021』では「100 年ブランドの確立」に向け成長のため更なる基盤強化として「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」を深化させ企業価値の向上に努めております。

2020 年度を振り返りますと、まず販売の状況としては、アコースティックピアノは各国政府からの外出規制や楽器店の休業命令により大きな影響を受けましたが、ハイブリッドピアノやデジタルピアノについては、日本、欧州、北米において巣ごもり需要により好調に推移いたしました。また、国内の音楽教室および体育教室については、昨年の新学期シーズンを直撃した事で生徒募集ができず大きな影響を受けました。教室の休講措置の影響などがあったものの会社を挙げて挽回努力をした結果、生徒数は回復してきております。海外でも新型コロナウイルスの影響を受けておりますが、中国や東南アジアでは音楽教室のオンラインレッスンの活用および展開の強化に取り組んでおります。

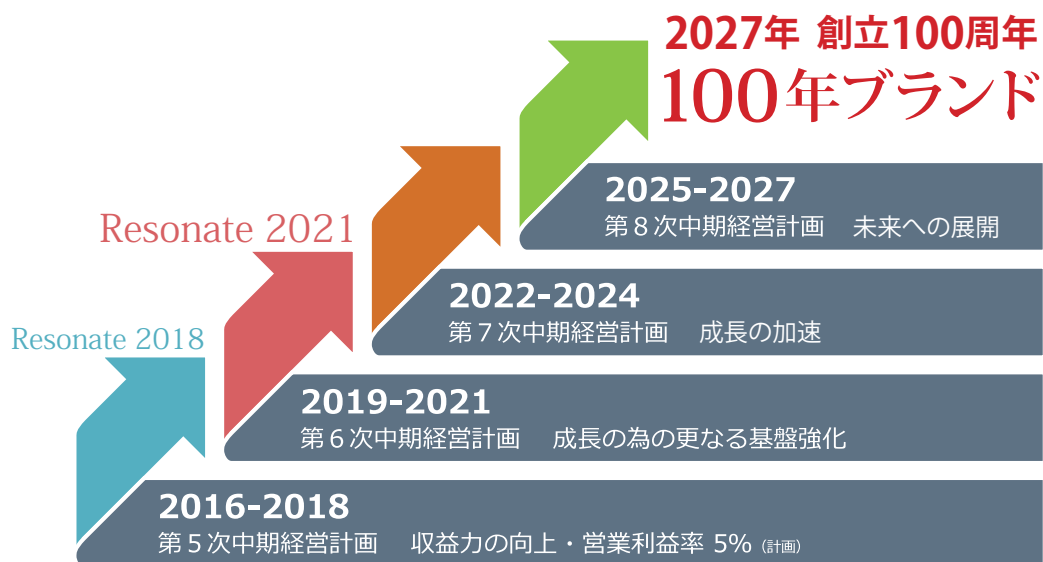
次に、製品・サービスについては、事業運営に大きな制約が続く中、デジタルピアノの新モデル「CA59」「CA49」や、当社

のマザー工場である竜洋工場の竣工 40 周年を記念したグランドピアノ「GL-10SE」など様々な製品を発売いたしました。また、新型コロナウイルスの影響によりコンサートが中止・延期となる中「音楽を通じて前向きに明るく過ごしていただく一助になれば」という思いから、コンサートのオンライン配信「Streaming+（プラス）」を開始いたしました。

生産面では、アコースティックピアノ・デジタルピアノともに研究開発体制、生産体制が国内外で整ってまいりました。両者の連携体制で日本、中国、インドネシアの事業が有機的に結びつき効率的な連携プレイができており、特にデジタルピアノにおいては販売に結び付く魅力的な商品づくりに繋がっております。

最後に組織面ですが、こうした先行きが不透明な時代だからこそ、これからのカワイを担う人材の育成が重要となります。若手の成長や女性活躍、一人一人が持つ力を十分に発揮できる職場づくりのためのダイバーシティ推進やワークライフバランスなど、さまざまな課題に尽力してまいりました。

100 年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させてお客様満足度の向上を追求するとともに、音楽文化への貢献を通して企業価値・ブランド力の向上に取り組んでまいります。



長期ビジョン「100年ブランドの確立」と第6次中期経営計画「Resonate 2021」の位置づけ

人財育成への取り組み

2019年に「女性活躍推進プロジェクト Love it! (ラビット)」を発足し女性活躍の推進に努めてまいりました。2020年8月、新たに竜洋工場でも女性ならではの目線でよりよい工場づくりを目指す「竜洋工場 女性活動チーム」を結成するなど、女性の活躍の場が広がりを見せています。

2021年1月にはこのような活動が認められ、女性が活躍できる企業の証である「えるぼし認定」を取得いたしました。「えるぼし認定」は、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等の優良な企業が、厚生労働大臣から認定を受けることができるものです。

また、当社グループで働くすべての人とその家族の心身の健康が、経営の基盤であり、社会にとっての大切な財産であると認識し積極的な健康づくりを推進してまいりました。このことが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2021」にも継続して認定されています。

環境への取り組み

ピアノには、世界各地から産出される様々な木材や、羊毛から作られるフェルトなど多くの天然素材が使用されています。様々な自然資源の恩恵を受けて事業活動を行っている当社グループの持続的発展には、豊かな自然環境が保たれることが不可欠となります。このことから1994年に「地球環境憲章」と「環境方針」を定め、その理念を推進する体制として全社で組織する「カワイ地球環境委員会」を設置しました。

そして、地球環境の保全に配慮した事業活動を推進するにあたり、1997年に竜洋工場において業界で初となる環境マネジメントシステム ISO14001 の認証を取得し、以後、日本、中国、インドネシアの主な生産拠点に ISO14001 を導入してまいりました。環境保全に配慮した事業活動の重要な取り組みとして「木材調達ガイドライン」などの方針に基づいた責任ある調達、資源効率向上による省エネルギー、CO₂ 排出量および廃棄物の削減、リサイクルによる資源循環の向上などに注力しております。また、インドネシアでは、2007年から CO₂ の吸収源確保、樹木が伐採された土地の森林再生、将来の木材資源の確保等を目指し「カワイの森」植林活動を実施しております。

国際社会においては、2015年のSDGs（持続可能な開発目標）採択以降、パリ協定が発効するなど、持続可能な社会の実現に向けて大きく舵が切られました。また、新型コロナウイルスについては、ワクチンの接種が開始されるなど状況に改善の兆しも見え始めてはいますが、完全な終息にはまだ相当の時間を要することが予想されます。当社グループは、このような社会状況と事業環境の変化を踏まえて、様々な ESG の課題への取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献することにより、皆様から信頼される企業を目指してまいります。

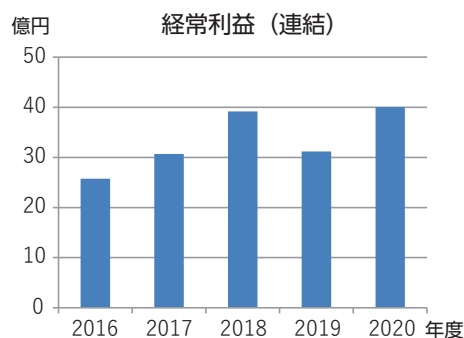
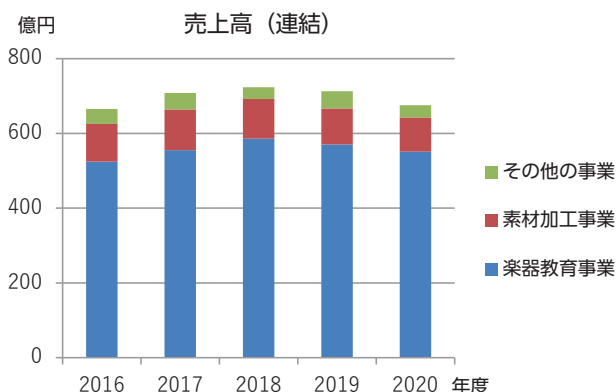
今後とも、皆様の一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

カワイグループの会社の概要と主な事業

社名 株式会社河合楽器製作所
本社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
創立 1927 年 (昭和 2 年) 8 月 9 日
設立 1951 年 (昭和 26 年) 5 月 15 日
代表者 代表取締役会長兼社長 河合弘隆
資本金 7,122 百万円 (2021 年 3 月末現在)

経営指標

		2018 年度	2019 年度	2020 年度
売上高 (百万円)	単独	51,524	49,481	48,487
	連結	72,376	71,302	67,520
従業員数 (名)	単独	1,269	1,282	1,302
	連結	2,813	2,839	2,868



楽器教育事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務
音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売

●国内での販売

(株) 河合楽器製作所
(株) 全音楽譜出版社

●海外での販売

カワイアメリカコーポレーション
カワイヨーロッパ GmbH
カワイカナダミュージック Ltd.
カワイオーストラリア PTY.Ltd.
PT. カワイミュージックインドネシア
河合楽器 (中国) 有限公司
河合貿易 (上海) 有限公司
カワイ UK Ltd.
カワイフランス SAS
カワイピアノ・ロシア

●楽器の調律・修理

(株) 河合楽器製作所

●国内での楽器製造

(株) 河合楽器製作所
(株) 全音楽譜出版社

●海外での楽器製造

PT. カワイインドネシア
河合楽器 (寧波) 有限公司
上海カワイ電子有限公司

●国内での音楽教室・体育教室の運営

(株) 河合楽器製作所

●海外での音楽教室の運営

PT. カワイミュージックスクールインドネシア

●その他

(株) カワイ友の会

素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、鋳鉄
鋳物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

●金属異形圧延加工品の製造 カワイ精密金属 (株)

●自動車部品用材料の製造 (株) カワイハイパーウッド

●鋳鉄鋳物の製造・販売 (株) カワイキャスティング

●防音室・音響部材の製造・販売 (株) カワイ音響システム

その他の事業

●情報関連事業、金融関連事業、保険代理店事業 他

(株) カワイビジネスソフトウェア
(株) カワイアシスト

カワイグループのあゆみ

- 1927 河合小市 河合楽器研究所を創立
ピアノの製造・販売を開始
- 1929 河合楽器製作所と改称
- 1935 合名会社河合楽器製作所と改組
- 1951 株式会社河合楽器製作所と改組
- 1955 河合滋 社長に就任
- 1956 カワイ音楽教室を創設
- 1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
ピアノ調律技術者養成所（現カワイ音楽学園）を開校
- 1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
- 1967 カワイ体育教室を創設
- 1980 金属圧延加工のカワイ精密金属（株）を設立
グランドピアノ専門工場として竜洋工場竣工
- 1985 （株）カワイビジネスソフトウェア設立
- 1989 河合弘隆 社長に就任
- 1994 全社的な環境推進組織の地球環境委員会発足
- 1996 新経営の理念、行動指針制定
- 1997 カワイ精密金属（株）浜松事業所において ISO9002 認証取得
竜洋工場において ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
- 1998 （株）カワイハイパーウッドを設立
- 1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売
- 2001 インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立
最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
- 2002 中国に河合貿易（上海）有限公司を設立
- 2003 カワイ精密金属（株）浜松事業所において ISO9001 認証取得
- 2004 カワイ精密金属（株）において ISO9001 認証を全社に拡大
中国に河合楽器（寧波）有限公司を設立
- 2005 竜洋工場において ISO9001 認証取得
- 2007 上海市内にカワイ音楽教室中国第 1 号教室開設
「カワイの森」インドネシア植林事業開始



1955 年 河合滋は小市の「世界一のピアノをつくりたい」という想いを受け継ぎ社長に就任しました



1927 年 河合小市は 7 人の技術者とともに河合楽器研究所を創立しました

- 2008 河合楽器（寧波）有限公司において ISO9001 認証取得
PT. カワイインドネシア第 3 工場において ISO9001 認証取得
- 2009 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場において ISO9001 認証取得
- 2011 インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを設立
PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場において ISO14001 認証取得
- 2012 中国に上海カワイ電子有限公司を設立
石川県羽咋市に（株）カワイキャストイング設立
河合楽器（寧波）有限公司において ISO14001 認証取得
- 2013 上海カワイ電子有限公司において ISO9001 認証取得
- 2014 （株）全音楽譜出版社を子会社化
ロシア モスクワ市にカワイピアノ・ロシアを設立
- 2015 アメリカ テキサス州ヒューストンに海外直営ショップ第 1 号店をオープン
カワイ精密金属（株）において ISO14001 認証取得
東北復興支援「カワイの森」東松島市で植樹活動開始
- 2016 中国楽器協会と「ピアノ調律事業に関する基本合意」を締結
中国 北京市に河合楽器（中国）有限公司を設立
（株）カワイハイパーウッドにおいて ISO14001 認証取得
- 2017 第 1 回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール開催
アメリカ テキサス州ダラスに海外直営ショップ第 2 号店をオープン
（株）カワイ音響システムにおいて ISO14001 自己適合宣言
PT.カワイインドネシア第3工場においてISO14001認証取得
- 2018 フランス クールブヴァア市にカワイフランス SAS 設立
ドイツ ハンブルグに海外直営ショップ第 3 号店をオープン
- 2019 「Shigeru Kawai シリーズ」誕生 20 周年
- 2020 竜洋工場竣工 40 周年
上海カワイ電子有限公司において ISO14001 認証取得

第6次中期経営計画「Resonate 2021」の概要と進捗

長期ビジョン

100年ブランドの確立

100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ります。

第6次中期経営計画「Resonate 2021」(2019年度～2021年度)

基本方針

カワイグループは、創造性豊かな好感度企業を目指し、「快適で豊かな生活環境の創造」・「お客様の満足を第一とした商品・サービスの提供」・「新しい時代に向けた企業活動の推進」・「社員を大切に、明るい企業をめざす」を経営の理念とし、ピアノをはじめとする楽器・音楽教育等を通じて感動を皆様に広げ、快適な生活環境の創造に貢献することを使命としております。2019年度を初年度とする第6次中期経営計画「Resonate 2021」(Resonate (レゾネイト) = 鳴り響く、響き渡る、共鳴する)では100年ブランドの構築に向け、「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」をそれぞれ深掘りしてKAWAIのブランド力を高め、柱である楽器教育事業の収益性向上と、成長のための基盤強化に取り組み、企業価値の向上を目指します。

重点戦略

楽器教育事業の収益力向上と事業拡大を目指し、それぞれの力を強化・結集させてKAWAIの成長を図ります。

(1) 販売力の深化

成熟市場においては、フラッグシップモデルの『Shigeru Kawai』や、ハイブリッド製品などの高付加価値品の販売強化に取り組み、安定成長と収益性の向上を図ります。また、販売網の強化として、特に米国やドイツにおける直営店の販売拡大や、フランスの販売会社の活動強化に取り組みます。国内においては、四位一体の販売体制(直販、調律、音教、卸・楽器店)の確立と、CRM(顧客管理システム)の活用による販売基盤強化、旗艦店のリニューアルと首都圏展開の強化に取り組みます。中国市場においては、パートナーとの提携業務を深耕し、バリューチェーンの付加価値を拡大するとともに、音楽教室、調律事業の展開も連携して進め事業拡大を図ります。また東南アジアでの販売拡大と、中南米、中近東、アフリカ等での市場開拓の推進にも積極的に取り組んでいきます。

(2) 製品・サービス力の深化

『Shigeru Kawai』をはじめ、素材・基礎開発レベルでの研究継続による品質・製品力の深化、顧客満足度の追求に取り組みます。特に2019年からの3年間は、ハイブリッド製品や、タッチと音を追求したデジタルピアノの開発強化に重点を置き、生産工場に企画・開発機能を持たせ、市場ニーズに即した製品開発に取り組めるよう体制を見直し、中国向け商品展開の充実化や低シェア市場攻略のための商品開発強化を図ります。あわせて、KAWAIのブランドマーケティング強化のため、商品企画・デザイン・プロモーションまでを一元管理する体制を構築します。また、アーティストリレーションの強化や、MPA(Master Piano Artisan 技術力の高い調律師のみが持つ社内資格)の育成、アフターサービス体制の充実化を進め、さらなる顧客満足度の向上に取り組みます。

(3) 生産力の深化

グローバルかつフレキシブルな生産体制の強化と、QCD(Quality・Cost・Delivery = 品質・コスト・納期)をさらに高めるための重点設備投資を実施します。

ピアノについては、マザー工場である竜洋工場を中心に、長年培ったKAWAIのオンリーワン技術を次世代につなぎ、100年ブランドに相応しいピアノづくりをグローバルに展開します。また、販売が好調な『Shigeru Kawai』生産ラインの改革・生産能力増強や、新生産システム導入による戦略的な原価管理、最適生産に取り組みます。

デジタルピアノについては、中国をはじめ全世界での販売増に対応するための生産体制を強化するとともに、生産工程の内製化など継続的な原価低減活動に取り組みます。

(4) 組織力の深化

中長期的に KAWAI グループが躍動するための人的資本の高度化に取り組みます。

- ・社員がいきいきと活躍できる「健康経営」の推進
- ・各階層に応じた教育研修プログラムの拡充による育成、能力開発
- ・女性の活躍を起点とした仕事と子育て・介護の両立支援と働き方改革の推進
- ・グローバル人材の育成推進、人事システムの刷新

また、経営基盤の強化のために、横断的な組織体制の構築やマネジメントプロセスの最適化、全社的な生産性向上と定型業務の効率化に継続的に取り組みます。



連結業績指標

楽器教育事業

楽器教育事業は、楽器販売において、ピアノは各国政府からの外出規制や楽器店の休業命令による販売減少が大きく影響しましたが、規制緩和や生活様式の変化の中、第2四半期以降回復基調に転じました。デジタルピアノやハイブリッドピアノについては、世界各地において巣ごもり需要を背景に好調な販売を維持しました。中でもブランドピアノの弾き心地を再現した最上位モデルである『CA シリーズ』及びアコースティックピアノアクションを搭載したハイブリッドピアノモデルである『NV シリーズ』の販売が好調でした。一方で、国内の音楽教室及び体育教室は回復基調にあるものの、第1四半期での休講措置が大きく影響しました。これらの結果、売上高は減収となり、営業利益は高付加価値商品の販売増加や費用の削減などにより増益となりました。

素材加工事業

素材加工事業は、第3四半期以降回復が見られたものの、第2四半期までにおける新型コロナウイルス感染症による供給先の生産調整に起因して、半導体関連部品や自動車関連部品の受注が減少したことなどにより売上高は減収となり、営業利益は費用削減などにより増益となりました。

[単位：百万円]

	2020年3月期 計画(※2)	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画(※2)	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画(※2)	2022年3月期 現計画(※3)
売上高	73,000	71,302	74,000	67,520	76,000	77,000
営業利益	3,100	2,960	3,600	3,492	4,200	4,000
経常利益	3,100	3,118	3,600	4,002	4,200	4,100
当期純利益(※1)	1,900	1,545	2,250	2,579	2,650	2,600
営業利益率	4.2%	4.2%	4.8%	5.2%	5.5%	5.2%
R O E	7.5%	6.1%	8.3%	9.7%	9.2%	9.0%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益です

※2 2019年3月時点の計画値です(前提となる為替レート：US\$110円、ユーロ125円、元16円)

※3 2021年5月時点の計画値です(前提となる為替レート：US\$108円、ユーロ128円、元16.5円)

企業価値の向上 ESG への取り組み

KAWAI グループの持続可能な社会の形成に寄与する活動として以下のような取り組みを行ってまいります。

【環境】 E…Environment

「地球環境憲章」を掲げ、「環境方針」「グリーン調達ガイドライン」に基づき、環境負荷のより少ない材料・部品・製品の優先的な調達や植林活動など、地球市民の一員としてグループ全体で環境・資源を守る活動の積極的な取り組み

【社会】 S…Social

楽器メーカーとして、Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールなどを通じた若手音楽家の育成・支援や各国での音楽教育普及活動による音楽文化へ貢献する取り組み

【ガバナンス】 G…Governance

100年ブランドの確立と持続的な成長を目指し、健全な企業経営の実現に向けた実効的なガバナンス体制への取り組み



地球環境憲章

カワイグループは、素晴らしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

地球環境憲章

地球と人にやさしい企業をめざして

《基本理念》

『感動製造業』をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。
また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

豊かな人間性や快適な生活環境の創造を
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

《行動指針》

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 製品の研究開発・設計段階からリサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
5. 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。
《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

環境方針

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

1. 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な環境側面を発掘し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
①社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
②開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
2. 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
3. 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
4. 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
5. この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の組織、運営制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

グリーン調達ガイドライン

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入するグリーン調達にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク（GPN）の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

《グリーン調達の基本方針》

- ① 調達の必要性を十分に考慮し、
- ② 品質や価格に加え環境に配慮し環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを、
- ③ 環境負荷の低減に努める事業者から優先的に調達する。

このグリーン調達ガイドラインはカワイグループが調達するすべての物品・サービスに適用されています。

また、調達基準として、法律、関連団体の基準、社内基準を遵守することはもちろん、天然資源への配慮から省資源、省エネルギー、処分やリサイクルまであらゆる段階での環境配慮がされていることも規定されています。

サプライヤー選定時にも環境に対する管理状況や省資源・省エネルギーへの取り組み、環境情報の公開状況などの配慮事項を定めて、購買部門よりお取引先様に対応をお願いしています。

グリーン調達ガイドラインの詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。
http://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kg_20040130.pdf

木材調達ガイドライン

ピアノ等楽器の製造において木材は重要な原材料であることを認識しています。持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

《基本理念》

カワイは、木を大切にし、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

《基本方針》

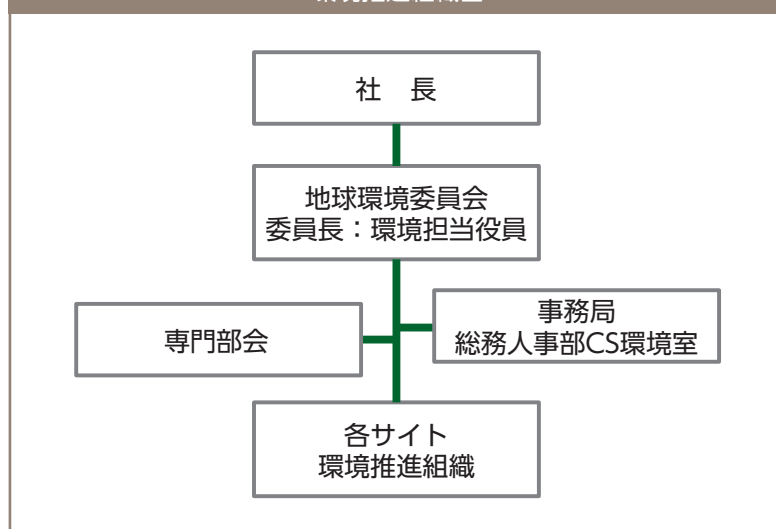
1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や遵法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物等を優先して調達する。

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。

また、専門部会を隔月で開催し、各サイトにおける環境目標に対する経過報告や、取り組みの情報交換を実施しています。

環境推進組織図



環境負荷の低減や資源循環の取り組みを推進しています

環境負荷低減の目標と実績

地球環境委員会では、「地球温暖化の防止」や「資源循環と資源の有効活用」を目的として「地球環境憲章」と「環境方針」のもと、環境負荷低減に取り組んでいます。

CO₂排出量と廃棄物排出量の売上高原単位で2018年度を基準年として毎年1%削減することを2019年度～2021年度の3ヶ年計画の目標値と決めました。従って、2020年度は、それぞれ、2018年度比2%削減を目標値として取り組んできました。

2020年度の実績を下表に示します。CO₂排出量原単位は2018年度比4.8%減少、廃棄物排出量原単位は2018年度比12.0%減少となり、目標値を達成できました。

廃棄物に関しては、生産工程の見直しによる不良率の低減や、鋳物製造部門の生産と工程の合理化によって鋳さいの発生量を削減したことなどが大きく影響しています。

	指標	年度						
		2016	2017	2018 (基準年)	2019	2020	増減	評価
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	341	311	292	279	278	- 4.8%	◎
	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)	6,710	6,201	5,891	5,655	5,636	- 4.3%	◎
資源有効活用	廃棄物排出量(総量) (t)	2,242	1,976	2,058	1,869	1,689	- 17.9%	◎
	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	33.7	27.9	28.4	26.2	25.0	- 12.0%	◎

評価 ◎:達成 ×:未達成

地球温暖化防止の取り組みと省エネ法対応

カワイグループでは地球温暖化防止の取り組みを環境経営の重点項目と位置づけ、下記の省エネルギー施策を実施することによって、エネルギー使用によるCO₂排出量の削減を推進しています。

CO₂排出量削減への取り組み

- 省エネルギーに配慮した工場設備の導入
- LED照明への更新
- 再生可能エネルギー使用検討
- 電力会社と共同の定期的な省エネ診断の実施
- オフィスでの「クールビズ」「ウォームビズ」運動の実施

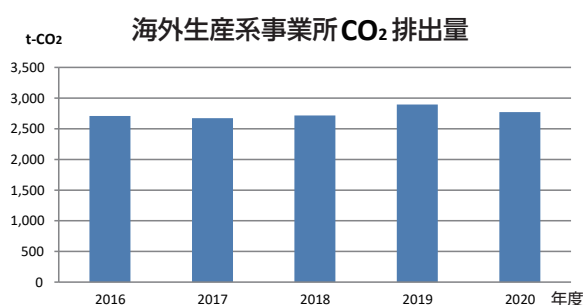
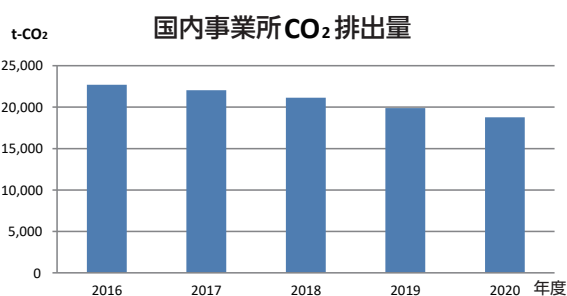
カワイグループ国内全体の2020年度のCO₂排出量は京都議定書基準年の1990年度に比較すると36%の削減となっています。省エネ法(「エネルギー使用の合理化等に関する法律」)は、一定以上のエネルギーを使用している会社(特定事業者)にエネルギー使用の合理化のためのエネルギー管理を義務づけ、エネルギー使用量の実績報告や中長期の省エネ計画を届け出ることを規定しています。

カワイグループでは(株)河合楽器製作所、カワイ精密金属(株)、(株)カワイキャスティングが特定事業者に、ピアノ製造の竜洋工場、金属加工のカワイ精密金属(株)本社・浜松工場、鋳鉄鋳物製造の(株)カワイキャスティングの3工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

2020年度は、(株)河合楽器製作所およびカワイ精密金属(株)が、省エネ法の事業者クラス分け評価制度にもとづく優良事業者のSクラス*の評価を受けました。

(*:エネルギー消費の5年間平均原単位を年1%以上削減する努力目標を達成した事業者)

現在、海外を含む多くの生産系事業所でISO14001(環境マネジメントシステム)を導入しております。今後もグローバルな観点からエネルギー使用量とCO₂排出量の削減に取り組んでまいります。



廃棄物削減の取り組み

廃棄物に関して排出量の削減とともにリサイクルによる資源循環の取り組みが重要な使命と認識して取り組んでいます。

カワイグループの廃棄物排出量は、2012年度にピアノフレーム製造の(株)カワイキャスティングがグループの一員となり、鋳物製造時に生じる大量の鋳さいが産業廃棄物として排出されたため、3,203tにまで増加しました。

その後、(株)カワイキャスティングは生産ラインの合理化、生産効率の改善に取り組みました。その結果2020年度のカワイグループの産業廃棄物排出量は1,689tに減少、2012年度比で47.3%削減、3か年計画の基準年2018年度比で17.9%の削減を達成することができました。

廃棄物の再資源化率についても、当初、(株)カワイキャスティングの再資源化率が小さかったために、カワイグループ全体の再資源化率に大きく影響しましたが、その後、(株)カワイキャスティングで鋳さいの路盤材などへの活用を進めたことにより、(株)カワイキャスティングの再資源化率が2012年度39%から2020年度68%に改善し、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度57%から2020年度85%まで向上しています。なお、(株)カワイキャスティングを除くと再資源化率は98%以上を継続維持しています。

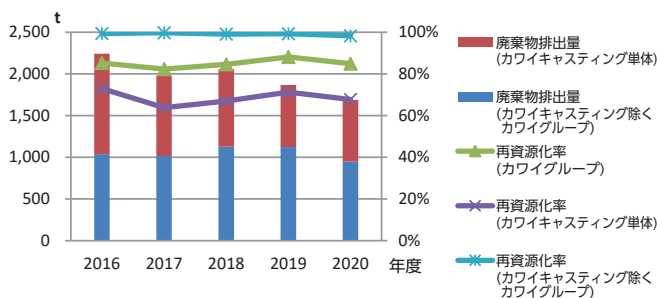
カワイグループ全体で最も多くの産業廃棄物を排出している竜洋工場では、産業廃棄物の木くず、木粉を製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料等に、フェルト屑を堆肥等に、塗装廃棄物を無害なエコストーンに活用する等により、再資源化率100%を達成しています。

今後もグループ全体で廃棄物排出量の削減、再資源化率の向上に取り組んでまいります。



塗装廃棄物の再利用の例の展示

産業廃棄物排出量と再資源化率

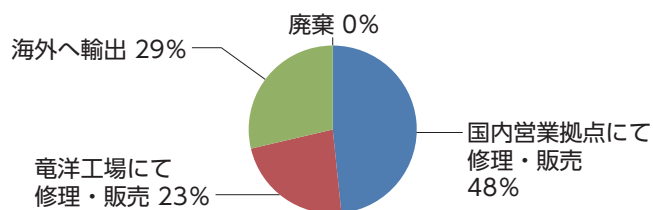


リサイクル・リユースの取り組み

循環型社会形成推進のための拡大生産者責任の考え方を踏まえて、ピアノの再生とリユースを推進しています。現在、国内統括部の中古ピアノ担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2020年度は国内で約800台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、29%が輸出され、世界の各地で使われています。

下取りしたピアノの再生、リユース (2020年度)



メーカーによるピアノ再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者により、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノの製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から好評をいただいています。また、カワイ製ピアノについては純正パーツによる修理・再生も可能で、大きな魅力となっています。



専任技術者によるピアノ再生

環境マネジメントシステム

カワイグループでは環境マネジメントシステム ISO14001 の導入を推進しています。現在、国内では竜洋工場、(株)カワイハイパーウッド、カワイ精密金属(株)が認証を取得し、(株)カワイ音響システムは、自己適合宣言を行っています。海外では PT. カワイインドネシア第1・第2・第3工場、上海カワイ電子有限公司、河合楽器(寧波)有限公司が認証を取得しています。

これらの事業所では環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善の PDCA サイクル（計画・実行・検証・対応の繰り返し）をまわすため定期的に内部監査を実施し、進行状況や是正事項の確認を行っています。

また、認証取得事業所では、外部の認証機関による毎年のサーベランス審査及び定期ごとの更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

インドネシアの「カワイの森」植林活動

ピアノには多くの木材が使用されています。それらの木材を扱うカワイは創立 80 周年記念事業として 2007 年にカワイグループ社員の有志により、カワイの森育成会（河合弘隆会長）を設立しました。

カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO₂ の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生することや持続可能な木材資源の確保を目指して、PT. カワイインドネシアとインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいてファルカタ、チーク、マホガニー等の植林活動を行っています。2017 年度には水産養殖等の目的で急速に破壊されたマングローブ林の再生活動も取り組みをはじめ 2020 年度までにカラワン県の海岸エリアにマングローブの苗木を約 9 万 2000 本、山林も含めて約 650ha の土地に約 70 万本の植林をおこない、ほとんどの樹木がこれまで順調に成長しています。

試算では「カワイの森」により年間 10,000t 程度の CO₂ の吸収効果があり、カワイグループ全体の CO₂ 排出量の 49%程度を吸収しているものと考えています。



「森の中の緑の工房」竜洋工場

竜洋工場は、2020 年に竣工 40 周年を迎えました。

1997 年にはピアノ業界で初となる ISO14001 を取得し、工場の環境方針には建設当初から推進している工場緑化を掲げています。現在では工場敷地の約 50%が緑地化されています。工場の従業員によって植樹された約 3 万本の木々は長い年月を経て成長し、「森の中の緑の工房」の名に相応しい緑豊かな工場となりました。

毎年秋には磐田市内のこども園の園児たちが工場を訪れてどんぐり拾いを行うなど、竜洋工場の「森」ならではの地域貢献も行っています。



「森の中の緑の工房」竜洋工場



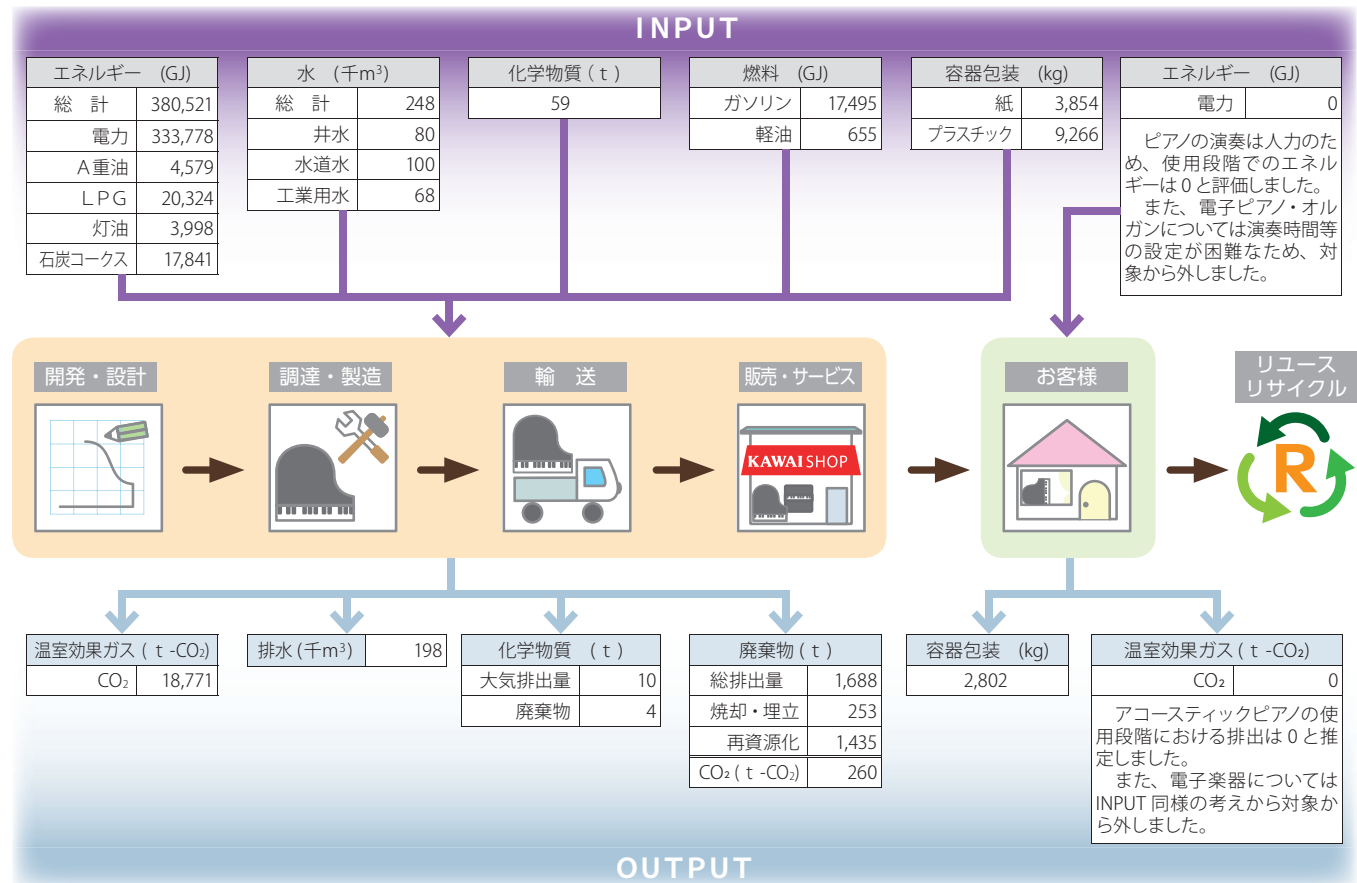
どんぐり拾う園児たち

企業活動による環境負荷を数値で把握しています

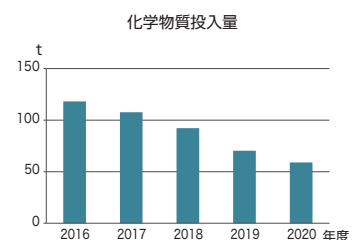
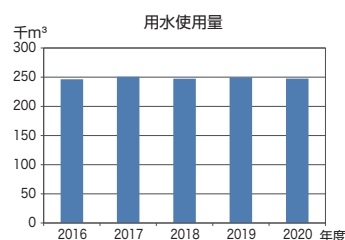
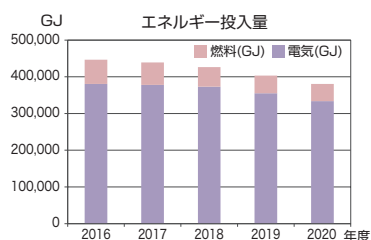
マテリアルバランス

カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行っています。

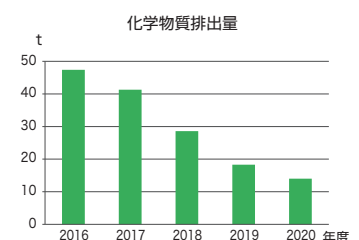
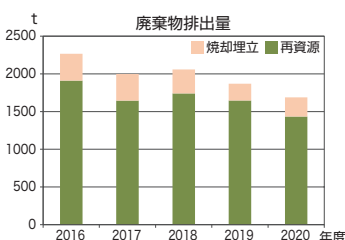
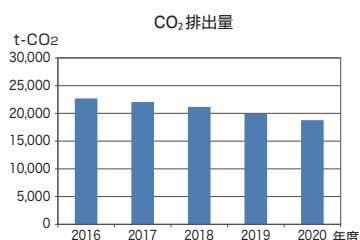
2020 年度におけるエネルギー、化学物質などの投入量と CO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後、環境負荷の低減に取り組むとともに、データ把握の範囲を拡大し、グローバルなデータ把握をすすめます。



INPUT



OUTPUT



音楽文化貢献活動

KAWAI PREMIUM CONCERT の開催

2021年2月23日、アクトシティ浜松中ホールにて「KAWAI PREMIUM CONCERT ショパン国際ピアノコンクール -若きピアニストの挑戦-」を開催しました。このコンサートは、国内外で演奏会やコンクールの中止・延期が相次ぐ中、演奏する場が減っているピアニストの皆さんの力になれないかという考えから企画しました。昨年開催される予定だったショパン国際ピアノコンクールが今年に延期されたことを踏まえ、ショパン国際ピアノコンクールに出場予定の6名の皆さんに出演していただきました。

6名のピアニストの皆さんは、ショパンの曲を中心に各々思い入れのある曲目を披露してくださり、集まった聴衆を魅了しました。

オンラインコンサートの開催

新型コロナウイルスの影響により、全国各地でコンサートが中止・延期となる中「新しい形のコンサート」を提供するため、ピアニストの皆様にご協力いただきオンライン配信コンサート「Kawai Streaming+ (プラス)」を開催しました。60分の演奏に加え、最後にはピアニストのインタビューも配信しました。

これまでのコンサートとは全く異なったコンサートとなりましたが多くのお客様に音楽を届けることができました。



各種音楽団体への支援

日本ショパン協会への支援

1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念してポーランドのショパン協会との交流のもとに設立。河合滋社長(当時)が名誉会長となり事務局を河合楽器製作内に設置、ショパン国際ピアノコンクール等への支援を行っています。

<http://chopin-society-japan.com/>

日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、当時、ソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長長芥川也寸志が両国の音楽作品の交換演奏を主とする音楽文化交流を目的として発足。ソ連の崩壊により現名称に変更し声楽や器楽のコンサート等を定期開催しています。

<http://japan-russia-sfm.net/>

クロイツァー記念会への支援

ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の門下生および関係者により1962年3月に設立。日本の音楽会に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定、受賞者による演奏会を1976年より毎年開催しています。

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>

日本シマノフスキ協会への支援

1981年、カロル・シマノフスキ生誕100年を記念して設立。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のコンサートや公開講座等も開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>

東日本大震災被災地支援チャリティーコンサート 2021

2021年3月11日にカワイ仙台、3月12日にカワイ浜松にて「東日本大震災被災地支援チャリティーコンサート 2021」を開催しました。大震災から10年がたちましたが、カワイグループでは、音楽を通じて支援活動を継続しています。

今年は新型コロナウイルスの影響で例年通りの場所での開催は叶いませんでしたが、浜松と仙台で開催することができ、ご来場いただいた方々と共に、被災地に思いをはせるコンサートとなりました。



中国での音楽文化の普及

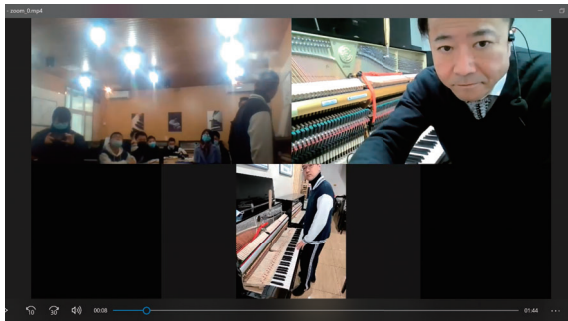
中国においては、中国（上海）国際楽器展覧会への出展や、宋慶齡基金会と連携し音楽教室の展開を進めることで、音楽文化の普及を積極的に進めています。また、調律師育成の一環として、勁松（ジンソン）職業高校に支援を行い調律技術の継承を図っています。



中国（上海）国際楽器展覧会



中国北京の音楽教室



調律技術指導を受ける勁松（ジンソン）職業高校の生徒（オンライン授業）



新興国での音楽文化の普及

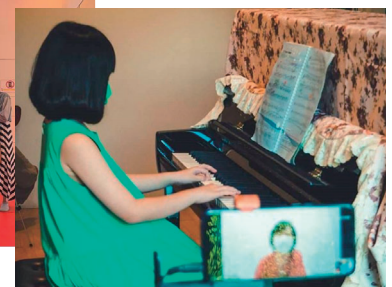
現地教育者の人財育成を推進し、各国での音楽文化並びに音楽教育の普及に努めています。



ベトナム



タイ



インドネシア

教育活動を通じて、個性を育み、 より豊かな人格形成を目指します

教育事業

カワイでは、音楽教室、体育教室を中心に、英語教室、絵画造形教室など、さまざまな教育活動を展開し、一人ひとりの個性を導き出すという教育の理念のもと、幼児から社会人、中高年の方までを対象に年齢やレベルに合わせて、興味の芽を大切に、素直に自己の感性を表現することを実現するためのサポートを行っています。

カワイ音楽教室

● 教育の理念

カワイ音楽教室の理念は音楽「を」学ぶのではなく、音楽「で」学ぶこと。

ただ単に技術を習得して「うまく」なることだけを目的とせず、各コースの表現活動を通して個性を育み、より豊かな人格形成を目指します。

personality & harmony



KAWAI MUSIC SCHOOL

カワイ音楽教室「教育の理念」

カワイは音楽を通じて、一人ひとりがかけがえない個性(personality)を導きだします。そして、おたがいの個性を尊重しあう中から、他人(ひと)と心を通わせ心を共振(harmony)させる喜びを創りだします。

● 教育のシステム

「音楽は人間が豊かになる為の、もっとも栄養価の高い糧である」という信念のもと、60年以上の実績を積み重ねながら、教育システム構築と指導方法の探求を行ってまいりました。

子どもから大人の方まで、「音楽する人(生徒)を育てる」という一貫した姿勢により、対象年齢に応じたコースを展開しています。

● 講師へのこだわり

1956年に誕生したカワイ音楽教室は、長い歴史の中で最先端の教育研究に取り組み、確かな実績を積み上げ、高い評価を得てきました。その内容の充実ぶりは、いずれのコースにおいても他に類を見ないと自負しています。特に幼児コースには力を注ぎ、講師は児童心理学や幼児教育理論の習得、実践研修を重ねています。

質の高い講師を十分に確保していることも誇るべき大きな特徴です。



● 個性を伸ばす多彩なコース

幼児リトミックコース〈グループレッスン〉

親子でふれあい
リトミック
1歳からの
クーちゃんランド
2021年度クラス
対象:2019.4.2~2020.4.1生まれの
お子さま

お友達と音楽
いっぱい!
2歳からの
くるくるクラブ
2021年度クラス
対象:2018.4.2~2019.4.1生まれの
お子さま

リトミック&
鍵盤コース
3歳のための
ピコルわーど
2021年度クラス
対象:2017.4.2~2018.4.1生まれの
お子さま

グループ
鍵盤コース
4歳のための
ピコルわーど
2021年度クラス
対象:2016.4.2~2017.4.1生まれの
お子さま

個人コース〈個人レッスン〉

個人・グループ
レッスン
3歳からの
3歳ソルフェージュ

個人レッスン
4歳からの
子どもピアノコース

個人レッスン
小学生からの
ピアノコース

個人レッスン
ハイレベル
ピアノコース

personality & harmony
カワイ音楽教室

カワイ大人の音楽教室
personality & harmony
KAWAI MUSIC SCHOOL



personality & harmony
カワイ英語教室



personality & harmony
カワイ絵画造形教室



体育・スポーツ教室

子どもを対象とした体育コースやスポーツコースでは運動能力の発達や技術の向上はもちろん、集団でのレッスンの中で協力して目標に向かったり、互いに励ましあったりすることで社会性を養うことなど、「からだの面」、「こころの面」、「知的な面」の3つの要素を重要視した指導を行い、人間的豊かさにあふれる人の育成をサポートしています。

体育コース



2歳クラス

からだ全体を使って、個性や運動能力、社会性を育みます。



幼児クラス

運動する楽しさを感じ、運動好きな子どもに育てます。



児童クラス

運動に関する創造性や積極性を育てます。



チャレンジコース

年齢の違う集団のなかで、「できる喜び」「生きる力」を育てます。

スポーツコース



サッカークラス

楽しいから上手くなる。好きだから長続き。夢はJリーガー。



新体操クラス

感動をあたる美しい表現力を身につけるために…。



器械体操クラス

体操技術を通して、心とからだのバランスを育てます。



水泳クラス

水遊びから始めて、4泳法を習得。全身の発達をめざします。



さまざまなステージで、健康づくりを総合的にサポートします

カワイは、体育教室をはじめとした健康づくりのサポートを全国で展開してから50年以上になります。このキャリアとノウハウを広く社会に公開・提供するのも一つの役目と考えています。

未就園児から高齢者まで、楽しみながら健康の維持・促進を図り、しかも測定データや最新機器を駆使し科学的にサポートする「カワイヘルスプロモーションサポートシステム」を構築し、さまざまなステージでの、健康づくりをサポートしています。

カワイヘルスプロモーションサポートシステム



カワイ体育教室正課・課外

幼稚園の学習指導要領の健康領域をサポートする「カワイ体育教室」導入のご提案です。



特定保健指導の支援

カワイでは長年培ってきたノウハウをもとに、働く人を対象とした健康増進プログラムを、企業、市町村に導入していただいています。



介護予防システム

カワイは運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知機能低下予防を中心に、高齢者を対象とした介護予防の支援をいたします。



モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理を快適にサポートする今までに無いツールです。



介護予防指導員セミナー

カワイは介護予防事業の中心的な役割を担う「介護予防運動指導員」を養成する指定事業者として講習会を企画・実施します。

次世代アスリートの育成や 生涯スポーツのきっかけ作りの場を提供します



スポーツコミュニティ

トップアスリートの生の声や演技・指導は運動への興味や関心、スポーツへの参加意欲を高め、次世代アスリートの育成や生涯スポーツのきっかけづくりになると考えています。

カワイ体育教室では、チーフアドバイザーに水鳥寿思さんや川本ゆかりさんを招き、各地のイベントや「カワイカップ」などトップアスリートと交流する機会として「スポーツコミュニティ」を展開しています。



カワイ体育教室 スタッフ紹介



チーフアドバイザー
水鳥 寿思 さん

2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリスト。現役を引退後カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。

● 運動の良さと大切さについて

運動を行うことで体力や運動能力などの丈夫な体を獲得できたり、目標達成能力や集中力などの精神的成長、仲間や先生とのコミュニケーションなどによって社会性も養われますが、そうした様々な効果を生徒が遊びながら自然と得られる、ということは他に代えがたいものであり子供にとって非常に重要な存在なのでは、と考えています。

また、夢中になって取り組んだ成果が形となって表れ、本人のみならず、見ている人にも感動を与えることができるのも運動の素晴らしい力だと考えています。



新体操クラス チーフアドバイザー
川本 ゆかり さん

1992年バルセロナオリンピック出場。カワイ体育教室の新体操クラスのチーフアドバイザーとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。

● 運動の良さと大切さについて

小さいころからお転婆で、できないことはできるまでやる!という、負けず嫌いな子どもでした。

小さなことでも、できた!成功した!という経験は自信へと繋がり、自分で運動の工夫や、創造をすることが好きになると思います。小さい頃に、様々な運動活動で多種多様な動きを身につけることで、生涯に渡って身体を動かすことが楽しいということに繋がると 생각합니다。仲間と一緒に喜んだり、助け合い励まし合う経験も、生きていくうえで生きる力を学ぶことにも繋がると思っていますので、グループ活動も沢山経験することができる環境づくりが大切であると思います。

講演会の開催

2020年9月25日、カワイ体育教室新体操クラスチーフアドバイザーの川本ゆかりさんが、浜松市立飯田小学校から依頼を受けて4年生から6年生の児童約300名を対象に講演会を実施しました。

「大きな夢を持って輝く子を育む」という学校の教育方針に基づき、御自身の経験をもとに、夢や目標を持ち、努力することの素晴らしさについて講演され、後半は、子供たちに新体操の演技に欠かせないリボン等の手具を使った体験をしていただきました。

カワイ体育教室では、未来を担う子供たちにむけトップアスリートと触れ合う機会を通じて健全な育成を図ってまいります。



川本ゆかりさんが講演会を実施

カワイでは時代の変化に対応した組織づくりを目指した活動を推進しています。
「女性がライフイベントを越えてキャリアアップできる環境をつくる」「すべての従業員の個性と能力を十分に発揮できる職場をつくる」「新たな視点や考え方を取り入れることで組織の変革や活性化に繋げる」事を目的とした女性活躍推進プロジェクト『Love it!』（ラビット）が活動をしています。

さらに竜洋工場でも、女性ならではの気づきやアイデアをプラスして、よりよい工場づくりを目指す「竜洋工場 女性活動チーム」が新たに結成され、女性活躍の場が広がりをを見せています。

サポーターチーム活動の実施

部門・職種・役割・地域・性別の枠を越えたメンバーによる組織横断的なサポーターチーム活動により、新たな視点や思考を取り入れ組織の活性化に繋げるとともに、女性活躍方策の企画立案を行っています。

サポーターチームの活動や研修の実施などについては定期的にニュースレターを発行し、随時従業員に向けて周知しています。また、ワークライフバランスガイドブックを発行し、仕事と生活の両立を支援する制度をライフイベント別にわかりやすく説明し、社内制度の周知に努めています。

セミナーの実施

管理職を対象とした「イクボス養成セミナー」を開催し、部下の仕事と生活の両立を考え、自らも仕事と生活を楽しめる上司となるよう啓発を行っています。

また、女性の身体の状態やリスク、それに対する改善策に焦点を当てた「産婦人科医による健康セミナー」を実施しています。女性のみならず男性も視聴可能で、同僚や家族の健康を理解し、一人ひとりが希望するキャリアや家族のかたちを描き実現できるようサポートしています。

育児休業取得推進

働きながらの子育てをサポートする制度として、1992年から育児休業制度を導入しています。2020年度は、女性の取得率が一昨年から継続して100%となっていますが、男性の取得率はコロナ禍の自宅待機や自粛などの影響で、育児の時間が増えたこともあり減少いたしました。

女性の育児休業からの復職支援として、人事担当者が毎月、取得者と連絡を取り合い、育児に関する相談を受けたり会社のニュースをお知らせしたりしています。また、通信教育の受講を促し、修了者には受講料の全額補助をするなどして、スムーズな職場復帰を支援しています。

「えるばし認定（二つ星）」取得

2021年1月、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（以下、女性活躍推進法）」に基づく優良企業として「えるばし認定（二つ星）」を取得いたしました。

「えるばし認定」は、女性活躍推進法に基づき、女性の活躍推進に関する取り組みの行動計画を策定・実施した企業のうち、取り組みの実施状況等が優良な企業が厚生労働大臣から認定を受けることができるものです。

今回は女性従業員の採用率や平均勤続年数、さらには女性従業員のキャリアアップに向けた取り組みなどが評価されました。今後も女性をはじめ全従業員が働きやすい職場づくりを目指してまいります。

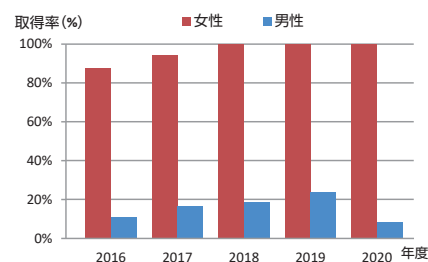


ワークライフバランスガイドブック



イクボス養成セミナー

育児休業取得率





人財を大切にしています

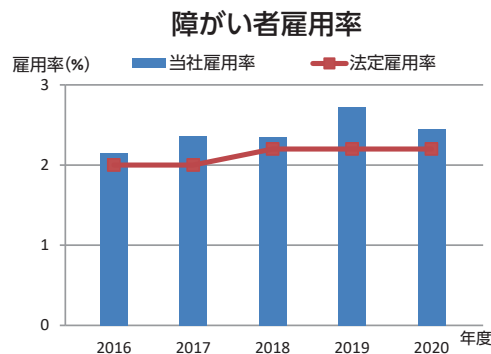
カワイでは、目まぐるしく変化する時代に対応した組織づくりを目指し、また創立 100 周年に向け、より強い企業になるための取り組みを推進しています。

障がい者雇用の積極的な実施

障がい者雇用は、2015 年度から 6 年連続で法定雇用率をクリアしており、2020 年度も障がい者雇用率は 2.45%と、法定雇用率の 2.20%を上回っています。

これは、近隣の特別支援学校のご協力のもと、実習による業務の適性を考慮した採用を継続していることも大きく影響しています。

今後も、企業として地域とのつながりを重視しながら、社会的責任を果たしてまいります。



積極的な人財育成の実施

カワイでは、2007 年から施行している新人事制度による人材育成体系に沿った教育研修を実施しています。

特に近年では若手従業員の育成に比重を置き、新入社員研修を皮切りに、6 年目までは、ほぼ毎年教育研修を実施しています。

また、監督層や管理層への昇格者を対象とした昇格者研修や、業務能力向上を図るための階層別研修も毎年企画しています。



健康経営優良法人 2021 (大規模法人部門) 認定

カワイは経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2021 (大規模法人部門)」に 2 年連続して認定されています。

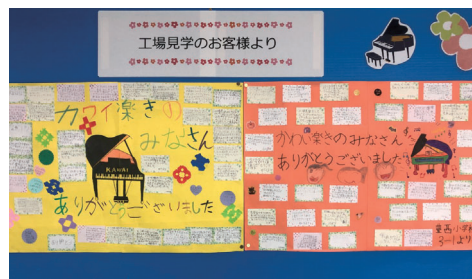
人事労務部門の担当役員が「健康経営責任者」となり、健康経営を牽引するとともに、人事労務担当部門が中心となり、各事業所長・労働組合の代表者をメンバーとした中央安全衛生委員会をはじめ、産業保健スタッフ、健康保険組合とも連携し、従業員およびその家族の健康づくりを推進してまいります。



工場見学の受け入れ

新型コロナウイルスの影響で工場見学の受け入れを一時見合わせていましたが、現在は静岡県内の小中学校の社会科見学のみを対象として受け入れを再開しています。見学ではグランドピアノの組立工程をご覧いただくことができます。

見学後の小学生からは「こんなにたくさんの人たちでつくっていることを知り、ピアノを大切にしようと思った」「細かい作業にびっくりした」「自分でも一度ピアノをつくってみたい」など嬉しい感想をいただいています。



工場のご見学に関するお問い合わせ

竜洋工場 (ピアノ事業部 業務室) 静岡県磐田市飛平松 252 TEL: 0538-66-5111 FAX: 0538-66-5919
工場見学はホームページからご予約いただけます。 <https://www.kawai.jp/ryuyofactory/>

健全な企業経営体制を構築しています

コーポレート・ガバナンス基本方針 (2018.12.27 改定)

カワイは「経営の理念」に基づき、持続的な成長と、中長期的な企業価値の創出に向けて「コーポレート・ガバナンス基本方針」を制定しています。この基本方針では、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方や体制など、5つの章に定めています。

コーポレート・ガバナンス基本方針の詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.kawai.co.jp/company/governance/>

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このようなことからカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含した「カワイ倫理規範」、「倫理行動規準」を制定するとともに、外部有識者（弁護士）を加えた企業倫理委員会を設置しています。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。

内部統制システムに関する基本的な考え方

カワイでは「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期経営計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでいます。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めています。

河合会長兼社長のコミットメント

私は新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、1996年4月に新しい経営の理念を制定いたしました。

新しい経営の理念の中で『お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します』『新しい時代に向かって企業活動を推進します』と謳っております。

すなわちお客様の満足度を常に考え、カワイブランドに対する信頼の維持を図り、新時代の社会の要請などに沿った企業活動を推進していくというものです。

2002年10月には社員ひとりひとりが企業社会人として、社会的良識をもって行動するための基本となる「カワイ倫理規範」「倫理行動規準」を制定いたしました。カワイグループの企業倫理の遵守を第一に高い倫理観と常識をもって行動し、「社会からの信頼」に応え、カワイブランドに対する信頼を損なわないようにすることが必要であると認識しております。

このようなことを踏まえ、私は、今回ここに業務の遂行にあたり、役員以下カワイグループ全社員に率先して当社のもつ社会的責任を自覚し、あらゆる場面において「カワイ倫理規範」を遵守し、「倫理行動規準」の精神に則って行動することを誓います。



代表取締役会長兼社長

河合弘隆

コーポレート・ガバナンス 体制／内部統制システム

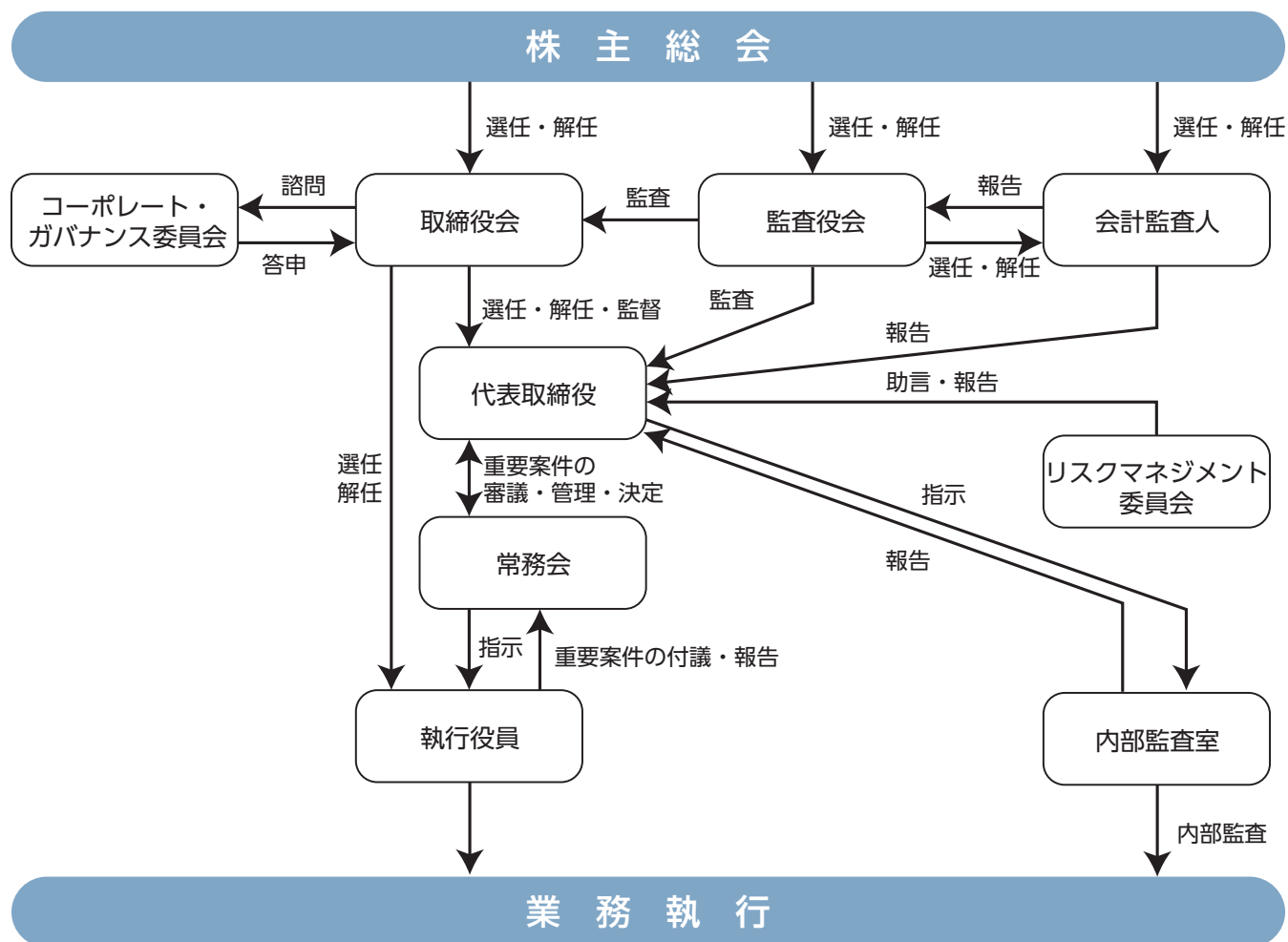
企業概要

環境に対する取り組み

社会に対する取り組み

コーポレート・ガバナンスに対する取り組み

資料編



- ・取締役会：社外取締役 2 名を含む取締役で構成
- ・監査役会：社外監査役 2 名を含む監査役で構成
- ・コーポレート・ガバナンス委員会：取締役会の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」を設置し、取締役候補者の選定に関する事項や、取締役の報酬に関する事項、その他コーポレート・ガバナンスの向上に関し審議し取締役会に答申、報告を行っています。
- ・2002 年 4 月より執行役員制度を採用
- ・2005 年 6 月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を選任しており、社外取締役には客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めています。
- ・経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・内部監査：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の遵守状況についての監査を行っています。

リスク管理体制

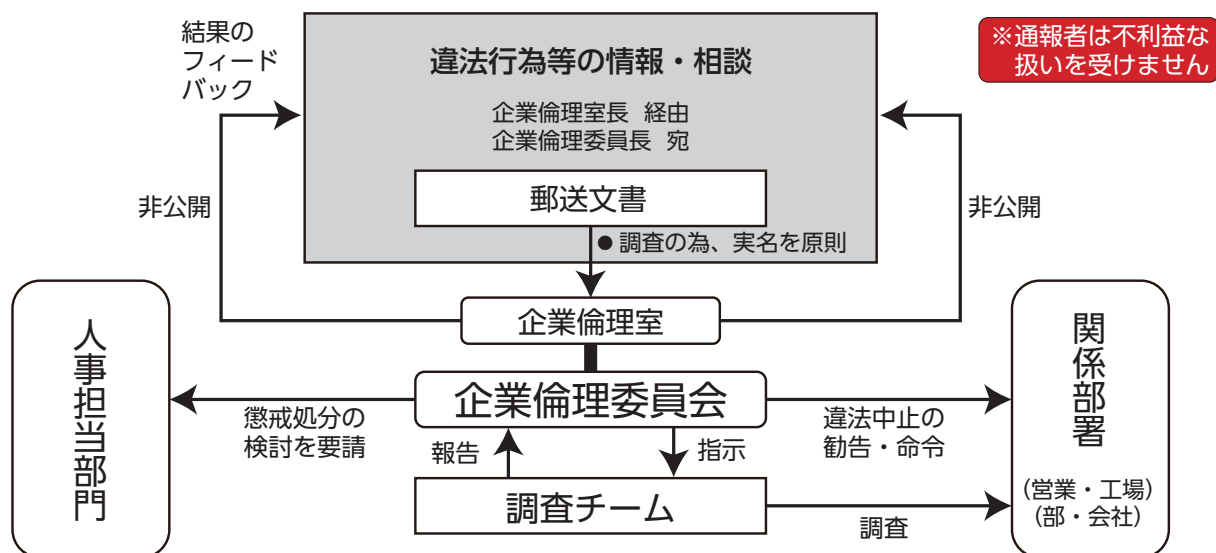
カワイのリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めています。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取り締役に報告しています。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしています。

リスクマネジメント委員会	
地球環境委員会	製品安全対策委員会
カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会では「地球環境憲章」、「カワイ環境方針」、「グリーン調達ガイドライン」、「木材調達ガイドライン」等を制定。また環境に関する法令の遵守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。	万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があるかと判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。
海外安全対策委員会	中央防災対策委員会
海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。	カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。
情報セキュリティ委員会	中央安全衛生委員会
情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。	カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。
企業倫理委員会	
コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な規範も包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動基準を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。	

企業倫理委員会・企業倫理ホットラインの流れ



環境負荷サイト別一覧

参 考

基準年

				1990	2016	2017	2018	2019	2020	基準年比
電洋工場 静岡県磐田市 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218㎡	INPUT	電気	GJ	101,341	57,787	55,627	55,292	54,549	48,950	-11.5%
		燃料	GJ	28,253	17,861	18,032	16,876	16,668	14,989	-11.2%
		水	千㎡	3330.0	35.6	38.1	45.2	48.5	48.6	7.5%
		化学物質	t		36.8	39.1	44.6	46.1	38.6	-13.5%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	t・CO ₂	7,632	3,553	3,462	3,388	3,343	3,001	-11.4%
		化学物質	t		9.1	10.1	12.3	13.8	10.1	-17.9%
		廃棄物 焼却・埋立	t	437.3	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	-100.0%
		廃棄物 再資源化	t	102.0	823.2	836.0	854.5	921.5	764.6	-10.5%
カワイ精密金属 (株) 浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡	INPUT	電気	GJ	1994 年 より稼働	63,386	68,526	67,822	63,834	59,118	-12.8%
		燃料	GJ		21.9	22.7	29.1	29.4	22.0	-24.4%
		水	千㎡		28.5	30.0	31.4	28.4	23.6	-24.8%
		化学物質	t		3.0	1.8	3.0	0.0	0.0	-100.0%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	t・CO ₂		2,894	3,129	3,097	2,915	2,699	-12.9%
		化学物質	t		3.0	1.1	2.6	0.0	0.0	-100.0%
		廃棄物 焼却・埋立	t		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	t		58.3	57.0	64.0	54.7	32.3	-49.5%
カワイ精密金属 (株) 松本工場 長野県松本市笹賀 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡	INPUT	電気	GJ	57,070	42,748	48,971	49,627	46,436	45,629	-8.1%
		燃料	GJ	7,132	5,393	5,473	4,194	3,417	4,024	-4.1%
		水	千㎡	42.1	72.3	79.6	67.0	69.1	79.0	17.9%
		化学物質	t		39.5	33.5	15.2	0.4	0.5	-96.7%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	t・CO ₂	3,674	2,333	2,622	2,561	2,325	2,324	-9.3%
		化学物質	t		30.6	26.1	8.6	0.0	0.0	-100.0%
		廃棄物 焼却・埋立	t	0.0	2.2	2.1	1.8	1.9	1.1	-38.9%
		廃棄物 再資源化	t	61.4	19.4	29.9	16.5	8.2	15.3	-7.3%
(株) カワイキャスティング 石川県羽咋市柳田町 事業内容：鋳鉄鋳物の製造及び販売 敷地面積：41,000㎡	INPUT	電気	GJ	2012 年 より稼働	70,178	65,776	59,159	54,354	54,472	-7.9%
		燃料	GJ		33,656	28,847	23,875	21,442	20,354	-14.7%
		水	千㎡							
		化学物質	t		22.8	19.5	14.6	13.9	12.8	-12.3%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	t・CO ₂		6,634	6,009	5,193	4,720	4,597	-11.5%
		化学物質	t		1.9	1.7	2.5	2.7	2.0	-20.0%
		廃棄物 焼却・埋立	t		349.7	345.1	298.5	212.6	237.9	-20.3%
		廃棄物 再資源化	t		854.6	611.9	622.9	531.9	500.9	-19.6%
(株) カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中郡町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡	INPUT	電気	GJ	14,787	15,084	14,134	16,415	13,174	11,235	-31.6%
		燃料	GJ	11	3,595	2,885	2,771	2,517	2,147	-22.5%
		水	千㎡	28.6	3.6	3.0	3.4	2.7	2.3	-32.4%
		化学物質	t		16.1	13.8	14.8	9.9	7.2	-51.4%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	t・CO ₂	1,250	943	849	945	780	665	-29.6%
		化学物質	t		2.8	2.4	2.6	2.1	1.5	-42.3%
		廃棄物 焼却・埋立	t	218.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	t	32.3	117.6	79.7	91.6	77.1	47.6	-48.0%
(株) カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡	INPUT	電気	GJ	2008 年 より稼働	920	871	865	881	1,066	23.2%
		燃料	GJ		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		水	千㎡		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0%
		化学物質	t							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	t・CO ₂		42	40	39	40	49	25.6%
		化学物質	t							
		廃棄物 焼却・埋立	t		3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	t		11.4	7.1	11.0	15.0	18.0	63.6%
本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡	INPUT	電気	GJ		5,827	6,207	5,751	5,574	5,710	-0.7%
		燃料	GJ		26	140	102	160	166	62.7%
		水	千㎡		3.6	3.6	3.4	3.7	3.8	11.8%
		化学物質	t							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	t・CO ₂		267	293	269	265	272	1.1%
		化学物質	t							
		廃棄物 焼却・埋立	t		4.5	4.2	5.5	3.7	11.1	101.8%
		廃棄物 再資源化	t		24.1	22.9	78.9	56.8	56.8	-28.0%



東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
中崎 清彦 先生

2020年から続くコロナ禍は、私たちの生活にとってのみならず、企業活動にとっても様々な制約、不自由さを強いるものとなっている。ピアノの販売についてもその影響を受けたが、コロナ禍の巣ごもり需要に強い製品で巻き返しをはかったこと、オンラインレッスン等の活用もあり国内外の音楽教室の生徒数にも回復の兆しが見えるなど、努力の甲斐あって売上高、経常利益ともに堅調に推移していることが報告書にまとめられている。

また、第6次中期経営計画「Resonate 2021」では100年ブランドの構築に向け、「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」の4つを向上させることとしているが、報告書にはそれぞれについての取り組みが具体的に、かつ分かりやすく示されている。中でも「組織力」向上の取り組みでは、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人」に2年連続して認定され、社員がいきいきと活躍できる「健康経営」が推進されていることが見て取れる。また、女性の活躍推進に関する取り組みの優良な企業として、厚生労働大臣から「えるぼし認定（二つ星）」を受けている。以上のように、「組織力」向上の取り組みは外部機関にも高く評価されており、これらの評価はカワイのブランド力を高め、企業価値の向上につながっていくものと考えられる。

なお、環境対策については興味深い試算が示されている。

2007年から継続しているインドネシアのカワイの森プロジェクトでは、これまでに約650haの土地に、約70万本を植林しているが、この森林のCO₂吸収量は、カワイグループ全体のCO₂排出量の49%程度にあたるとしており、CO₂排出量低減対策に熱心に取り組んできた大きな成果がわかりやすく「見える化」されている。また、環境負荷低減の目標と実績では、CO₂排出量と廃棄物排出量が報告されており、2018年度を基準年として毎年1%削減することを想定していたが、2020年度は、売り上げ高基準のCO₂排出量であるCO₂排出量原単位が2018年度比4.8%減少、廃棄物排出量原単位は2018年度比12.0%減少となり、目標値を大きく上回っている。さらに、省エネ法対応では、グループ内の2社（株）河合楽器製作所、カワイ精密金属（株）がSクラスを達成し、資源エネルギー庁によって環境対策が高く評価されている。以上の報告から環境対策について有効な手段が講じられていることがわかる。

これら以外にも、オンライン配信コンサート「Kawai Streaming+（プラス）」の開催、勤松（ジンソン）職業高校の生徒に対する調律技術のオンライン授業等、コロナ禍に素早く対応し、新しいことに果敢に取り組んでいる姿勢が読み取れる報告書になっている。コロナの波を乗り切って、さらに優良な企業として発展していくことを期待している。

第三者意見を受けて

中崎先生には、本年度も第三者意見として、本報告書に対するご評価、貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年度の報告書では、第6次中期経営計画「Resonate 2021」の4つの重点戦略についての取り組みをご理解いただけるように心がけました。その中でも「組織力」に関する取り組みや、インドネシアの植林による環境負荷低減活動について評価いただいたことは大変励みになるお言葉として受け止めております。これからも目標を掲げて努力を続けてまいります。

今後も、自然との共生を大切に、社会に役立つ活動を積極的に行い、音楽文化に貢献することにより企業価値の向上を図るとともに、長期ビジョン「100年ブランドの確立」と持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

（カワイ地球環境委員会 事務局）



株式会社 河合楽器製作所

お問い合わせ先

カワイ地球環境委員会

事務局：総務人事部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地

TEL：053-457-1252 FAX：053-457-1300

URL：<https://www.kawai.co.jp/>

